

## 障害児の地域社会に根ざした職業体験「ぷれジョブ in さく」事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- ぷれジョブは平成 15 年に岡山県で始まった市民活動で、長野県内では平成 22 年度より須坂ぷれジョブ推進会議が活動を開始した。
- 佐久地域においてぷれジョブ活動を行う組織の立ち上げと普及を行い、障害がある子が職業体験（おしごと体験）を通して自信を持てる機会を創出するとともに、地域や企業、教育機関、行政機関等が協働することにより、インクルーシブな「共生」社会づくりを進める。



【定例会の様子】

### 事業内容

- 障害のある子どもたちが、日頃自分の生活する地域社会で、週に 1 回 1 時間、半年の間、ジョブサポーターと一緒に職業体験を継続する「ぷれジョブ」活動を実施。
- 支部ごとに運営される活動を統括し、代表者との連絡調整や研修会、ジョブサポーターの養成、普及啓発を行った。
- ぷれジョブに関するシンポジウムや「長野県ぷれジョブの集い」を開催し、県内外の関係者が一堂に会して交流を行った。



【ぷれジョブの活動の様子】

### 事業効果

- 協議会の設立から一年を待たずに、佐久市内で 2 か所、小諸市で 1 か所、軽井沢町で 1 か所と、合計 4 つの支部が活動を開始し、継続している。さらに平成 25 年度にも佐久市内と御代田町で 1 か所ずつ支部が活動を開始した。現在、登録児童生徒数 28 名、ジョブサポーター 48 名で活動中。
- 支援金の有効活用により、2 回の小セミナー及び「長野県ぷれジョブの集い」と銘打った 100 名規模の集会を運営・開催。県内 5 地区での活動関係者が一堂に会し、全県レベルでの交流を深めた。また、全国組織の主要関係者の参加も得て、活動の基本理念を再確認できた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 初年度の歩みを終え、活動基盤を確保し、当初の目標設定に対しては一定の成果を得た。今後は、現在活動を継続している各地域の組織強化により、一人でも多くの地域在住の障害のある子どもにこの自己実現のチャンスが提供できるよう、更なる啓発に力を注ぎたい。
- 同時に、子どもたちの成長と変容を契機に、地域社会の大人たちが本来の意味での「共生社会」の創出に思いを馳せつつ協働するという、この活動の醍醐味を、まだ着手されていない他の地域にも啓発してゆく。

#### 【選定のポイント】

4 つの支部（平成 25 年 10 月現在 6 支部）が活動を開始し、教育機関・地域住民・企業等と協働してぷれジョブ活動を行った。

また、活動の普及にも努め、地域での支部活動の活発化や新たな組織づくりにつながっているほか、他地域との広域的な交流を進めるなど、「共生社会」の実現に向けたさらなる活動の充実が期待される。

団体名 ぷれジョブ in さく連絡協議会（佐久市）  
 連絡先 a-miyao@po15.ueda.ne.jp  
 ホームページ <http://www.purejob-saku.com/>

事業タイプ ソフト事業  
 事業費 1, 233, 120 円  
 支援金額 1, 163, 000 円